

## 第7回放生津小学校・新湊小学校統合準備会の開催結果について

1 日 時 令和6年8月19日(月)午後7時01分～8時29分

2 場 所 新湊中学校 2階会議室

3 出席者 統合準備会委員 14名

学識経験者 辻井満雄

地域振興会関係者 (放生津地区)宮島伊佐夫

(新湊地区)尚和昌治

(庄西地区)釣雄彦

PTA関係者 (放生津小学校)宮島晃伊知、棚田善昭、江尻誠

(新湊小学校)米田大樹、加治宏規、野村勇喜

(新湊中学校)高野信寿

関係小・中学校長 (放生津小学校)赤尾秀康

(新湊小学校)竹林浩樹

(新湊中学校)吉野長武

事務局 10名

金谷教育長、久々江事務局長、六渡次長、佐藤学校教育課長、高井学校教育課長補佐、川淵学校教育課係長、尾間教頭(放生津小)、京角教頭(新湊小)、鷲塚学校教育課主査、荒木学校教育課主査

## 4 内 容

(1) 開会

(2) 協議事項

統合小学校の校名選定等について

<委員発言要旨>

【会長】教育委員会に校名を一任することについて、委員の考えを確認する。

【委員】なかなかまとまらなかったなので、教育委員会に一任する。

【委員】第6回統合準備会で、新湊小学校を選定し6月市議会に提出することとなっていたが、校名の再考の申出が教育委員会からあった。その経緯の説明を求

めたが、具体的な説明が一切なかった。理由が分からないまま、意見を言うことは控えたい。教育委員会に一任はする。地域振興会の同意は得ている。

【委員】何回も準備会で話をした結果であり、このとおりでよい。

【委員】PTA内での統合準備委員会及び保護者への説明会で、一連の経緯を説明した。校名が決まらないので、教育委員会に一任する方向性をPTA、保護者に説明し、了解を得ている状況である。放生津PTAとしては一任することで意見がまとまった。

【委員】放生津PTAは教育委員会に一任する。

【委員】放生津PTAは教育委員会に一任する。

【委員】準備会に出席し、それぞれの地域の思いも知り、子どもも取り組んでいる。宿泊学習も両校で一緒に行ったり統合に向けて準備が進んでいる。前に進んでいかなければならないので、校名は教育委員会に一任する。

【委員】教育委員会に一任する。小学校では交流活動を進めている。教育委員会の方で統合を進めてほしい。

【委員】この準備会で物を申し出る状況ではないので、教育委員会に一任する。

【委員】第6回準備会以降、教育委員会の進め方は強引であると感じる。もっと丁寧に進めるべきである。教育委員会に校名を一任することに反対するが、本日の準備会での意思決定について異論はない。

【委員】新湊PTAとしては、現PTA会長に話をしてもらうことで良いが、個人的な意見としては、ここで決まったことも、今までの流れでいうと、明日には違う話になっているかもしれないので、どうぞというくらいしか言えない。

【委員】新湊PTAは教育委員会から説明会をしたい旨の書類をもらい、説明会を実施した。本来であれば、説明会の場で取りまとめ、教育委員会に校名を預ける形まで持っていきたかった。新湊PTAの答えとしては反対、教育委員会の進め方でうまくいってないのに、任せられない。

【委員】説明会の場では合意を得られるどころか大変な状況で、教育委員会に一任することを賛成できる状態ではない。教育委員会を通じてしか話を聞いておらず、本当のところを聞きたい。前回の会議で、紆余曲折を経ながら最後は採決をして、8対7の僅差だったが、教育長からもこれで進めると会議が終わった。

その後、放生津側から新湊小学校という名前であれば統合しないという話があったと理解している。

【委員】そういう話はしていない。第5回準備会での再アンケートに懸念がある。

【委員】その答えが、統合しないということなのか。

【委員】そういうことではない。統合しないという結論には至っていない。統合にはずっと前向きでいた。

【委員】新湊小学校だから統合しないというのではない。放生津は初めから同等の立場で統合するのであれば、単独の名前を使わないという方向でいる。

【委員】統合しないということであれば問題だが、そうではないのであればなぜこのような話になっているのか。

【委員】話が平行線をたどっているため教育委員会が市長を交えて一任してもらえないという結論を出した。統合という目的を達するためには教育委員会に一任せざるを得ないという状況である。

【事務局】これまでの経緯については、事務局から3地域の会長またPTAの方に話を聞きながら進めてきている。新湊小学校という名前で6月定例会に上程することを目標としていたが、その前段階において両地域の思いが交わることがなかったというのは事実である。ただ、統合への思いは皆さんずっと一緒だった。この状況で統合を成し遂げるために、この準備会で選定された新湊小学校という名前を頭に置きながら進めたが、放生津地域の理解が得られなかった。準備会を開く前に各地域に一任することについて取りまとめしてもらった。ただ、新湊小学校については、自分たちから説明が出来ないので、教育委員会から説明に来てくれと言われた。校名の一任については、教育委員会部局だけではなく市長部局とも協議し、政策調整会議を設け、6月初旬に一任してもらう方向を決めた。それ以降、各PTAの方、準備会の方、PTA会長にも6月上旬には話をして取りまとめをお願いした。最終的に準備会で教育委員会に一任願いたい。

【委員】教育委員会から説明会開催依頼があったのは事実。総会で前会長の時に新湊小学校という名前が選定されたが、PTAの協定書には〇〇小学校と書いてある、どんな形になろうともPTAは全面的に協力しようと保護者に説明した。

だから我々からは教育委員会へ一任することへの説明が出来ないと言った。  
一任することについて教育委員会が新湊PTAに説明しに来て納得させられる  
のだったらいいが、あとはそちらで決めてほしいといったら、用紙が来た。

【事務局】違います。その議論はここですべきものではない。

【委員】新湊小PTAは、新湊小という名前であれば統合しないという答えなのか。

【委員】統合は賛成だが、やり方が急すぎて準備会で決めたくない。決めたことは決ま  
らないし、預けれる状態ではない。会議のやり方も問題なかったが、校名を預け  
てほしいと言われたら、新湊小学校という名前だったら放生津側さんが統合し  
ないと言っているんですか？という話になる。

【委員】教育委員会から一任の方向で6月頭に話をもらい、放生津小PTAは、みん  
なで意見交換し最終的に統合を目指すのであれば一任するしかないという結  
論に至った。新湊小の答えはどこにあるのか見えない。

【委員】放生津側は決まった名前ですべて通っていくことによって、統合を否定するものでな  
いのなら、なぜ話を通さなかったのか。

【委員】新湊の名前にこだわっているのではなくて、それまでの流れに不満がある。

【委員】第6回準備会での投票結果だけみたら8対7、それで決まりだと思われること  
は仕方がない。単独名を使わないということで再アンケートを取ったが、新湊に  
なった、それが最大の疑問点、そのプロセスが納得いかない。第5回で単独名  
を使わないと決めたのに関わらず、新湊を出されたので、そこに対しての懸念  
が一番強かった。ただ投票だけの結果を言っているわけではない。

【委員】新湊小学校と放生津小学校の保護者が新しい学校を作るとき、今までのこと  
は腹にあるかもしれないが、一緒になって協力するためには、市教委に任せる  
しかない。このままお互い話をしても結論は出ない。

【委員】決まったことが覆されており、今後もこのようなことになるのではないかと懸念  
している。ただ話をしても一直線で交わることがないのであれば、上層部で  
整合性をとって決めもらうことが一番いいということで、地域振興会の仲間をな  
だめて、出席している。

【委員】統合小学校の校名については教育委員会に一任したい。過去何回も開かれ  
てきたこの準備会の中で新湊、放生津という学校名は最高の学校名であること

を確認できた。その両校の校名に負けない新しい校名を教育委員会の方に出していただきたい。

【会長】現状では統合に向けた準備が進められていて、両校区の思いを一つにするために教育委員会からの提案があった。校名を教育委員会に一任する方向しかないと思うがどうか。

【委員】採決してこの場で決めるなら、前回決定事項で挙げるべき。

【委員】今回は採決は避けて多数意見で決めるのが良い。今、皆さんは大方理解されたと思う。会長の判断に委ねる。

【委員】一任してすごい名前が出てきたらと考えると、新湊は一任すること自体を反対している。

【委員】放生津側では、アンケートで使わないと言っていた名前になるくらいなら市教委に任せた方がいいという声が多数だった。

【委員】放生津PTAとしては、単独名を使わないという方向で進めていき、再び新湊という答えが出てきたことに納得しなかった方が大多数いた。お互い納得できる部分、できない部分もあると思うが、最終的に市教委に一任することが落としどころと判断した。

【委員】どのような名前か不安であるが、出てきた名前を反対しないということ、みなさんがきちんとならないといけない。自分はどんな名前になろうと任せた以上は受けざるを得ないと思う。

【委員】二つの地域の共通言語を消すことになるが、本当にそれでよいのかどうか伺いたい。皆さんがそれを望むのであればよい。

【委員】新湊という名前を出してきたというのは、放生津を消してもいいというのか。

【委員】地域にとって考えたときに、新湊小PTAは、新湊を残した。

【委員】教育委員会が挙げた名前が絶対ダメというときに何か方法はあるのか。

【事務局】新しい校名については、一任後、公表する。新湊、放生津よりいい名前はないと思う。150年の歴史があり親しまれている名前である。ただ、新設統合校として新しい名前をつけ、これからまた歴史を刻んでいくものだと思っている。校名がまとまらなかったことは、教育委員会がまとめてこなかったということも理由として挙げられる。これに関しては深く反省している。前に進めていくために、一

任していただき新しい校名を付けていくことに、ご理解いただきたい。

【会長】教育委員会に校名を一任したい。

【委員】取り上げてください、教育委員会が。最終的には教育委員会が判断することなので、教育委員会が勝手にやることなのであればそこに意見はない。ただ反対する。

【事務局】教育委員会の責任でしっかりと校名については預からせていただく。準備会の皆様方におかれましては準備会での選定結果もあるので、これで進めることを認識いただいたということをお願いする。

【会長】一任という形で進めさせてほしい。

【委員】一任して校名が決まったら、現放生津小PTA、新湊小PTAはこの後一緒にやろうという意思はあるのか。

【委員】どのような形になっても、もちろんである。当初からそうであったし、そのような要望も出している。

【委員】どんな状況であってもか。

【委員】当初から何回も一緒にすることを要望している。

【委員】一任して教育委員会が決めた名前はどうなっていくか分からないが一緒になってやっていくしかないという解釈でよいか。

【委員】もちろん協力はする。一任はしていない。

【委員】子ども達のためにやる。みんな一生懸命やると言っている。

【事務局】これから新しい学校を作っていくには、地域、PTAの方々の協力がないと学校は立ち行かなくなるので、これまでいろんな話があるが、いろいろ消化していただきながら、いい学校を教育委員会で作っていきたい。新たな校名についてこの場で教育委員会から提案したいが、会長よろしいか。

#### <校名案配布>

【事務局】校名案説明

校名案については9月議会に上程したい。

【事務局】校名についてはいみず未来小学校で進めていきたいが、会長よろしいか。

【会長】この校名で理解が得られたようなので、会議の進行を事務局に返す。

(4) 閉会